

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和3年度 未来戦略創出会議(第4回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和3年9月1日(水) 14時00分～15時00分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はZoom会議にて参加
議題		(1) 令和3年第3回定例会提出予定案件について (2) 令和3年度豊島区補正予算(案)について (3) 令和2年度各会計歳入歳出決算について (4) 区制施行90周年記念事業推進本部の設置について
公開の 可否	会議	☐ 公開 ☒ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 一部資料は、政策形成段階の資料のため非公開。
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・国際文化プロジェクト推進室長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長・区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長(欠席)・教育部長・選挙管理委員会事務局長・監査委員事務局長、区議会事務局長(欠席)
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・総務課長
	説明者	総務部長、財政課長、会計課長、総務課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 令和3年第3回定例会提出予定案件について

説明者 資料に基づき、令和3年第3回定例会提出予定案件について説明。
説明内容については、資料 3-4-1「令和 3 年第 3 回定例会提出予定案件」のとおり。
⇒提案の通り決定する。

(2) 令和3年度豊島区補正予算(案)について

説明者 資料に基づき、令和3年度豊島区補正予算(案)について説明。
今回の一般会計補正予算は、補正予算額が 581,010 千円であり、前回までの予算額との合計は 136,415,928 千円となる。財源別、経費別の内訳は資料のとおりである。後期高齢者医療事業会計の補正予算額は、233,175 千円であり、前回までの予算額との合計は、6,551,684 千円となる。介護保険事業会計の補正予算額は、1,116,928 千円であり、前回までの予算額との合計は、21,951,713 千円となる。債務負担行為は道路維持修繕経費、掘削道路復旧等受託工事経費の 2 件を追加する。
⇒提案の通り決定する。

※資料 3-4-2「令和 3 年度 豊島区補正予算(案)」は、政策形成段階の資料のため、非公開とする。

(3) 令和2年度各会計歳入歳出決算について

説明者 資料に基づき、令和2年度各会計歳入歳出決算について報告。
まず、資料 3-4-3-①「令和2年度各会計決算総括説明」から説明する。
令和 2 年度一般会計の歳入歳出決算状況について、100 万円単位で説明する。予算現額は、1,650 億 6,200 万円、歳入決算額は、1,552 億 6,200 万円、歳出決算額は 1,504 億 6,800 万円、歳入歳出差引額、いわゆる形式収支は 47 億 9,400 万円、翌年度へ繰り越すべき財源が 9 億 3,100 万円、実質収支額が 38 億 6,200 万円、基金繰入額についても同額の 38 億 6,200 万円となり、実質繰越額はない。
次に、一般会計の歳入合計額であるが、予算現額は 1,650 億 6,200 万円、収入済額は 1,552 億 6,200 万円であり、その差額は 98 億円の減である。款別に見た場合、その差が最も大きいのは特別区債の 45 億 4,900 万円の減である。これは、決算見込みを勘案し、起債の全部または一部を取りやめたことによるものである。また、収入率が最も低いのも特別区債であり、同様の理由によるものである。
次に、一般会計の歳出合計額であるが、予算現額は 1,650 億 6,200 万円、支出済額 1,504 億 6,800 万円であり、前年度との比較では 80 億 800 万円の増である。款別に見た場合、文化商工費の執行率が 78.2%と若干低くなっている。この主な要因としては、申請が当初の見込みを下回ったことにより、中小商工業融資事業経費の利子補給等に 4 億 3,500 万円の不用額が生じたことなどによるものである。
次に、債権別収入未済額及び不納欠損額についてであるが、強制徴収公債権の収入未済額は、前年度と比較し、6 億 4,000 万円減少している。この主な要因としては、

国民健康保険料の収入未済額が6億800万円、また、特別区民税が3,100万円減少したことが挙げられる。一方、不納欠損額は900万円増となっており、この主な要因としては、国民健康保険料で2,200万円、特別区民税で400万円増、生活保護法による扶助費に係る返納金で800万円、介護保険料で800万円減していることなどが挙げられる。続いて、非強制徴収公債権であるが、収入未済額が前年と比較し、700万円減少した。この主な要因としては、生活保護法による扶助費に係る返還金が3,000万円減少したことが挙げられる。私債権については、前年度と比較し、収入未済額が1,000万円減少した。不納欠損額については100万円の増となっており、生業資金貸付金返還金が200万円増となったことが主な要因である。

次に、資料3-4-3-②「令和2年度一般会計決算の概要」について説明する。まず、収支の状況であるが、前年度との比較では、歳入が6.1%、歳出が5.6%といずれも増で、ともに過去最高額となった。決算額の予算現額に対する収入率は94.1%、執行率は91.2%で、ともに昨年度より増となった。形式収支は前年度と比べ9億5,600万円の増、また、実質収支は6億500万円の増となった。

続いて歳入の状況であるが、特別区税は対前年度比プラス2.2%、額では7億4,600万円の増であり、収入済額348億2,500万円で過去最高となった。特別区交付金は対前年度比マイナス11.7%、額では39億5,300万円の減となった。国庫支出金は対前年度比プラス132.8%、額では302億9,500万円の大幅増となった。

最後に歳出の状況であるが、義務的経費は対前年度比プラス7.4%、額では44億4,400万円の増となり、このうち人件費は239億5,100万円で、対前年度比プラス10.6%、額では23億400万円の増となった。扶助費は376億7,000万円で、対前年度比プラス4.3%、額では15億6,700万円の増となった。公債費は31億6,800万円で対前年度比プラス22.1%、額では5億7,200万円の増となった。投資的経費は対前年度比マイナス64.4%、245億3,900万円の大幅減となった。その他の経費は対前年度比プラス63.8%、281億300万円の大幅増となった。

区長 実質収支額が38億6,200万円と説明があったが、この要因は何か。

説明者 収入率と執行率の差が大きく開いたことが主な要因だと分析している。
⇒報告の通り了承する。

(4) 区制施行90周年記念事業推進本部の設置について

説明者 資料に基づき、区制施行90周年記念事業推進本部の設置について報告。

説明内容については、「資料3-4-4-①～④ 区制施行90周年記念事業推進本部の設置について」のとおり。

区長 私は区制施行50周年の時から関わっているが、一番まちや区政が変わったのはこの80周年から90周年の間だと感じている。消滅可能性都市の指摘を受けてから政策を転換し、思い切った集中投資をして、ゴールを東京オリンピック・パラリンピックと見据えて23のプロジェクトを立ち上げ、全てを達成した。この集中投資をどう活かしていくか

ということが、これからの豊島区の大きなまちの変革、目指すところである。

豊島区はコロナ禍においても、SDGs 未来都市の選定を受け、消滅可能性都市の指摘をきっかけに打ち出した「国際アート・カルチャー都市」という区が目指す将来像に向けて進んできた。これまで 50 周年からずっと周年行事をしてきたが、次の 90 周年はただの 10 年毎の周年行事ではなく、これまで積み上げてきたまちづくりの成果をどう活かし、どう繋げていくか、次の 100 周年に向けた大きなステップにしたいと考えている。

特にここ数年は、民間との協働も活発に進めてきている。民間の大きな力も借りて、一体となって 90 周年を次への大きな足掛かりにしていきたい。「90 年の発展を踏まえ、次の 100 周年を目指して、としまの未来像を描く！」というキャッチフレーズのもと、各部署でもこのことをしっかり認識してもらい、全庁をあげてこれを進めていきたい。

⇒報告の通り了承する。

会議の結果	(1) 令和3年第3回定例会提出予定案件について (2) 令和3年度豊島区補正予算(案)について (3) 令和2年度各会計歳入歳出決算について (4) 区制施行 90 周年記念事業推進本部の設置について →(1)(2)について決定、(3)(4)について了承
提出された資料等	・資料 3-4-1 令和3年第3回定例会提出予定案件 ・資料 3-4-2 令和3年度 豊島区補正予算(案) ・資料 3-4-3-① 令和2年度 各会計決算総括説明 ・資料 3-4-3-② 令和2年度 一般会計決算の概要 ・資料 3-4-4-①～④ 区制施行 90 周年記念事業推進本部の設置について